

2018年 8月好日

第2回キックオフセミナー「江戸城の見える化」開催のご案内

第1部 江戸東京歴史物語～近代東京のまちづくりと文化財～

第2部 江戸・東京歴史文化ルネッサンス5カ年基本計画（案）

一般財団法人 江戸・東京歴史文化ルネッサンスの会

日頃より、当会の活動にご支援を賜り、有難うございます。

この度、第2回キックオフセミナーを下記の通りご案内申し上げます。

◆開催日時 2018年9月10日（月） 13時半から16時半（予定）

◆会場 学士会館 302号室（次ページを参照ください。）

◆開催概要

第1部 講演（13時半～15時）

・テーマ：「江戸東京歴史物語 ～近代東京のまちづくりと文化財～」

今回は、都市に眠る文化財を辿りながら、江戸から東京へと移り変わる都市の物語を紐解いていきたいと思っております。

・講師：江戸都市史研究家 後藤 宏樹 様（NHKプラタモリの案内人）
江戸城や江戸の遺跡発掘や史跡整備を手がけてこられました。

*コーヒーブレイク（15時～15時20分）※ご参加の皆さままで楽しくご懇談いただく時間です。

第2部 ご報告（15時20分～16時半）

・テーマ：江戸・東京歴史文化ルネッサンス 5カ年基本計画（案）

これまでの経緯と、2022年の下記の提言に向けてご報告申し上げます。

1.江戸東京歴史文化ルネッサンス基本構想 2.国家的プロジェクトの設置に向けて

・講師：常務理事・事務局長 内田 久江

◆対象者と募集人数 会員および一般市民 50名（先着順とさせていただきます。）

◆参加費 お一人 3,000円（部屋代、資料代、コーヒー代、人件費、雑費等）
領収書をご用意しておりますのでお申し出ください。当会は非営利法人のため、実費等を頂戴させていただきますので、ご理解賜りますようお願い申し上げます。

◆申込み方法 9月5日（水）迄に、下記宛てにお申込みください。
お申込み後に参加の可否について事務局よりご連絡させていただきます。
また、お申込み後に参加を見合わせる場合は、前日までに必ず事務局にご連絡ください。

FAX 03-6261-6813

第2回キックオフセミナー 参加申込書（ 月 日）

Eメール info@zaidan-edojo.or.jp

お名前	会員	非会員	メールアドレスまたはご住所	連絡先電話番号	紹介者

※会員・非会員のいずれかに○をご記入ください。

学士会館 案内図

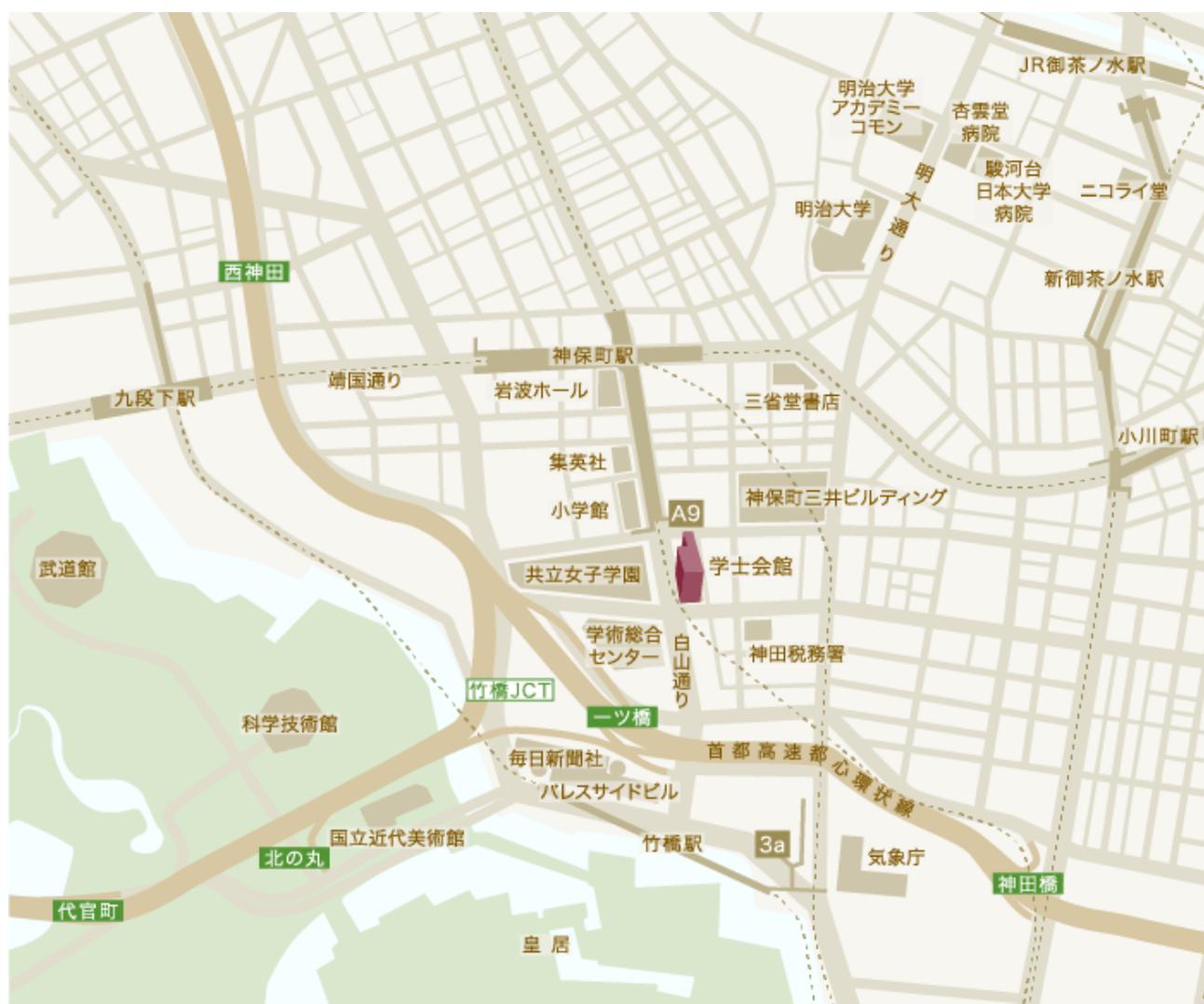
〒101-8459 千代田区神田錦町3-28

電話 03-3292-5936(代)

〔最寄り駅〕

- 【電 車】
- ・都営三田線／都営新宿線／東京メトロ半蔵門線
「神保町」駅下車 A9 出口から徒歩 1 分
 - ・東京メトロ東西線「竹橋」駅下車3a 出口から徒歩 5 分
 - ・JR 中央線／総武線「御茶ノ水」駅下車御茶ノ水橋口から徒歩 15 分

【タクシー】「東京」駅 丸の内北口からタクシーで 10 分



第2回キックオフセミナー「江戸城の見える化」 実施報告

- ◆開催日時 2018年 9月10日(月) 13時半から16時半
- ◆会場 学士会館 302号室
- ◆参加者 約50名(会員及び一般市民)

1. 代表理事挨拶 (小竹直隆代表理事)

- ・本日は、この記念すべき第2回キックオフセミナー「江戸城の見える化」にご参加を頂き、また日頃より、江戸・東京歴史文化ルネッサンスの会をご支援賜りまして、誠に有難うございます。
- ・本日の“江戸城の見える化”は、「江戸東京歴史物語」でございます。第1回「江戸・東京の文化財を活かす方策」は、大変にご好評頂きました。引き続き、後藤宏樹様を講師にお迎えしております。さて今日は、どのような物語をご用意しておられるか、楽しみでございます。
- ・私どもは昨年10月に、江戸城天守再建から、本丸御殿を含めた江戸城全体の整備計画ビジョンをご報告させて頂きましたが、本日は、「江戸城全体整備計画、即ち、江戸・東京歴史文化ルネッサンス5カ年基本計画(案)」のご報告をさせていただきます。
- ・また、皇居周辺の歴史まちづくりや、水辺の再生、文化財の保存等に関わるみなさまにも、ご参加頂き、有難く思っております。
- ・新たに、コーヒーブレイクタイムを設けました。どうぞ、みなさま、ご歓談をお楽しみください。



2. 第1部 講演

テーマ： 「江戸東京歴史物語 ～近代東京のまちづくりと文化財～」

講師： 後藤宏樹氏(江戸都市史研究家)

- ・江戸城の見える化・第1回の「江戸東京の文化財を活かす方策」に続き、近世の江戸から近代の都市東京への推移を「江戸東京歴史物語」として講演されました。
- ・近世の江戸の城下町の構成について、他の城下町との比較を説明した上で、江戸は全国の大名が屋敷を構え、投資を行い、あらゆる機能が整っている日本の中でも特異な城下町であること。それ故に、近世の江戸から近代の明治の東京へは、江戸の都市骨格をうまく利用していること。物流を例に、街道の拠点である城門跡地や、濠や



橋等の舟運拠点を活かしつつ、鉄道の駅を配置し、物流網を作り上げていること等が多彩な資料を映しながら説明されました。

- ・最後に、こうした江戸から東京へと引き継がれた文化財を都市の風格・安全安心・郷土史を知る上でも「保存する」とともに「活用」していくことの必要性の説明がありました。
- ・**参加者アンケート**では、「江戸から東京は、ゆるやかな革命を行ないながら、街の様相が劇的に変わった、世界でもまれな町であることがよくわかった。」「他の城下町も例に挙げて、駅と城の位置関係を見るなど、知らなかった捉え方で興味深かった。」との声がある一方で、第1回に参加されなかった方からは、「江戸・東京の文化財を活かす方策」を聞きたかった。改めて取り上げてほしい。素晴らしい資料も見たい。」等の感想も聞かれ、また、「歌舞伎や花柳界、謡や能楽、庶民の浮世絵、落語や神輿、工芸職人、茶の湯など武士の文化も取り上げてほしい。」といった意見も出され、来年度に取り上げて参ります。これらのご意見は、「江戸・東京歴史文化ルネッサンス基本計画書」に反映して参ります。



*コーヒーブレイク

参加者同士、役員と皆さまで、コーヒーブレイクのひと時を楽しまれ、大変に好評でした。

3. 第2部 ご報告

テーマ： 近未来の世界遺産を目指し、よみがえれ！江戸城・城下町

「江戸・東京歴史文化ルネッサンス基本計画書」の策定に向けて

(内田常務理事・事務局長)

- ・昨年10月のビジョン構想に続く本基本計画のご報告は、江戸城惣構図などの映像資料と合わせて次の通りの説明が行われました。
- ・首都東京の品格を高め、文化観光先進国を目指し、内外の多くの人々が交流する東京の歴史文化まちづくりを進めるために、
 - ①首都東京の歴史と文化に光を当て、先人達により守られた文化財を活用し、失われた歴史遺産である江戸城を甦らせるべく、関係機関の協力を得て、
 - ②2020年、世界的な評価に資する今日的意義を検証し、
 - ③2022年に向けて「江戸・東京歴史文化ルネッサンス基本計画



書」を策定致します。

この計画書は、歴史上、初の本格的な「学術・調査、検討」提言事業等となり、策定のプロセスを公開し、完成の暁には関係官庁や機関に対し、「江戸・東京ルネッサンス基本構想」と「国家的プロジェクトの設置」などの提言活動を行って参ります、との報告がありました。

- ・参加者アンケートでは、「江戸城全体整備計画」が非常にわかりやすく説明され大変に良かった。」「本格的で真面目な取り組みに驚いた。」「ビジュアルな江戸城を見たい。」の声が多くある一方、「構想が大きく目標が見えにくいので、自分が生きている間に江戸城復元可能な絵をみせてほしい。」等の感想もありました。皆様の声は、基本計画に反映させて取り組んで参ります。

以上